

東館山天空コース[遊歩道]

東館山天空（ひがしたてやまてんくう）コースは、手軽に歩ける遊歩道である。発哺温泉（ほっぽおんせん）街を起終点とし、ゴンドラリフトに乗れば6分で標高2,030メートルの東館山（ひがしだてやま）山頂に行くことができる。山頂から散策を始め、最後は高天ヶ原（たかまがはら）サマーリフトに乗って山を下れば終点だ。コースの標高差は約520メートルで、終点までの所要時間は約75分。

東館山は1998年に行われた長野冬季オリンピックの会場の1つで、今でも多くのスキーヤーやスノーボーダーがこのゲレンデを訪れている。一方、夏になると緑のゲレンデは10万平方メートルに及ぶ屋外植物園へと姿を変える。ここでは約500種の高山植物が保全されており、その多くが6～9月に花を咲かせる。キンポウゲ（*R. japonicus*）の小さな花から、笛の形をした紫色のクボタテンナンショウ（*Arisaema nikoense f. kubotae*）まで、さまざまな花が鮮やかな光景を生み出し、これをゴンドラに乗って上空から楽しんだり、整備された遊歩道を歩いて近くから楽しんだりできる。

また頂上には展望台もあり、ここからは北アルプスや、北信五岳（ほくしんごがく）の総称で知られる長野県（ながのけん）北部の5つの主峰すべてを含む、志賀高原（しがこうげん）のほぼ全域をくっきりと望むことができる。